

広島大学の知に触れる情報誌

May 2022 05

HU-plus

Hiroshima University Magazine vol.18



[CROSS TALK+]

躍動し続けるエンジン。Hondaの挑戦はとまらない。

本田技研工業株式会社 取締役 代表執行役社長 三部 敏宏氏 ×
広島大学 学長 越智 光夫

[特集] 世界に挑む広大 #1
情報科学に境界はない

散

詩

語

録



Message from President



「平和の大学」としての使命を果たす

風薫る季節になりました。海拔200メートル、賀茂台地にある東広島キャンパスでは、新緑の萌える木々の間をさわやかな風が吹き渡り、野鳥のさえずりも間近に聞こえます。身も心も弾んでくるようです。豊かな自然に恵まれた東広島キャンパスは、緑をスクールカラーとする広島大学の象徴といえます。

人類史上初の原爆投下から4年後の1949年、広島大学は焼け野原になった広島に開学しました。初代学長に就任した森戸辰男先生は「焼けただれた赤錆色の大学でなく、みずみずしい緑色の大学にしたい」との思いで、世界の大学に手紙を送って苗木や種子の提供を呼び掛けたのです。

寄贈された樹木は大切に育てられ、東広島キャンパスにもセコイアやオオバボダイジュなどの木々が移植され、平和を希求する精神とともに引き継がれています。

この地に今年、新たな1ページが刻まれることになりました。キャンパスの一角に、米国アリゾナ州立大学サンダーバードグローバル大学院の広島大学グローバル校を開設しました。2021年にオープンした広島大学フェニックス国際センター「ミライクリエ」とともに、グローバルキャンパスとして世

界への懸け橋となることを期待しています。

広島大学は2年後、開学75年の節目を迎えます。私は学長に就任して以来、「平和を希求し、チャレンジする国際的教養人」を育てる大学を目指してまいりました。

広島大学は、世界の大学の社会貢献力を示す「THE大学インパクトランキング2021」でSDGs17項目のうち5項目で世界トップ100に入りました。カーボンニュートラルとスマート・キャンパスの2030年実現という新たな目標に向けてチャレンジしています。

コロナ禍に加え、戦火による犠牲者も相次いでいます。21世紀にまさかロシアによるウクライナ侵攻が起こるとは一部の専門家以外は夢想だにできなかったでしょう。20世紀末には紆余曲折はあるものの、大きな戦争のない社会に向かうものと思っていました。広島大学は大学として2月25日にいち早くロシアの侵略に対して抗議声明を発表しました。

今こそ、自由で平和な国際社会を実現し、人類の幸福に貢献する「平和の大学」としての使命を果たし、平和を考え、行動する人を輩出したいと強く願っています。

越智光夫

Fulfilling our mission as a "University of Peace"

It is at this time of the year when the wind starts to feel like a pleasant breeze. At the Higashi-Hiroshima Campus, located on the Kamo Plateau, 200 meters above sea level, a fresh breeze gently moves through the new green leaves, while the chirping of wild birds can be heard in the near distance. These things serve to lift our spirits. The Higashi-Hiroshima Campus, blessed with a rich natural environment, is the symbol of Hiroshima University, the colour of which is green. In 1949, four years after the first atomic bombing in the history of humankind, Hiroshima University was established in the burnt ruins of Hiroshima. Mr. Tatsuo Morito, the first president of the university, wrote to universities around the world, asking for saplings and seeds, as he wanted the image of Hiroshima University "to be transformed from burnt-out, red rusty surroundings into a campus full of fresh green trees and plants." All the donated trees — including sequoias and the Broad-leaved lime[Tilia platyphyllos] — were carefully nurtured; at the time of the relocation of HU, some of them were replanted and have been well looked-after in the Higashi-Hiroshima Campus together with the spirit of pursuing peace.

This year, HU will open a new chapter in the history of its Higashi-Hiroshima campus, in the form of an on-site branch opening of The Thunderbird School of Global Management-Arizona State University-Hiroshima University Global Initiative. I hope that the Global Initiative described above, coupled with the "MIRAI

CREA" (Hiroshima University Phoenix International Center opened in 2021), will serve as a bridge to the world. In two years' time, Hiroshima University will be celebrating its 75th anniversary. Since becoming President of Hiroshima University, my aim has been to cultivate "peace-pursuing, cultured individuals with an international mindset and challenging spirit". Hiroshima University was ranked in the world's top 100 in five of the 17 SDGs in THE (Time's Higher Education) University Impact Ranking 2021, which shows the social contribution capacity of universities around the world. We are taking on the new challenge of achieving carbon neutrality and of realising a smart campus by 2030.

In addition to the COVID-19 pandemic, there has been a spate of casualties due to warfare. I do not think anyone but a few experts dreamt that the 21st century would see a Russian invasion of Ukraine. I had been under the impression that we were heading towards a society without major wars, despite the twists and turns at the end of the 20th century. Hiroshima University was one of the first universities to issue a statement, protesting against Russian aggression on 25 February 2022.

I strongly hope and believe that now is the time to fulfil our mission as a "University of Peace" to realize a free and peaceful international society, contributing to the well-being of humanity as well as producing people who can think and act for peace.

Atsuo Yoshida

取材時には新型コロナウイルス感染予防に注意を払い、撮影時のみマスクを外しています。

【Hiroshima University】の魅力や情報をあなたに“プラス(+)”、【HU】とあなたが“つながる(+)”という願いを込めて。



広島大学で行われている情報科学の研究や人材育成。さまざまな分野と交わり、いずれ世界を変える力に。

CONTENTS

- 01 散詩語録
- 03 CROSS TALK+
本田技研工業株式会社 取締役 代表執行役社長 三部 敏宏氏 ×
広島大学 学長 越智 光夫
- 07 特集 世界に挑む広大 #1
情報科学に境界はない
- 11 持続可能な未来のヒント
広大 もったいなれっじ
- 13 AERAが書く 研究者の素顔
- 15 HIRODAI GLOCAL
- 19 こちら 総合戦略室!
- 20 HIRO-DAI HEROES
- 21 卒業生インタビュー 私も広大です
- 23 HU-style
- 25 HU TOPICS
- 27 キャンパスNOW
- 28 読者アンケート・プレゼント
- 29 広島大学への寄附・基金

広島大学SNS

- 広島大学(Hiroshima University)
- @Hiroshima_Univ
- 広島大学 | LinkedIn
- HiroshimaUniv

Instagramでキャンパスの日常を配信中



躍動し続けるエンジン。 Hondaの挑戦はとまらない。

三部 敏宏氏(左)

本田技研工業株式会社
取締役 代表執行役社長

越智 光夫(右)

広島大学 学長

❏ 厳しい指導で鍛えられた研究力

越智_三部さんは広島大学の工学部第一類を卒業後、大学院の工学研究科へ進学されました。学生時代は研究に熱心だったとお聞きしています。

三部_大学院では内燃機関学研究室に所属し、エンジンの内部に燃料を送り込む「インジェクター」という装置について研究をしていました。担当の教授は民間企業出身の元エンジニアで、指導が非常に厳しかったので、ついていくために必死で

した。ただ、そのおかげで研究力が鍛えられましたし、学部時代よりもさらに自分のやりたい研究が自由にできたので、楽しさもありましたね。



越智_本田技研工業へ入社してからは大学院の学びを生かし、エンジンを中心とした開発業務にあたられました。まず就職先にHondaを選んだ理由をお聞かせください。

三部_自動車メーカーに就職しようと思った時に、最初から業界一位の企業に入ることにあまり魅力を感じませんでした。それよりもあえて業界の二番手、三番手の企業で、自分の実力で業績を上げてみたいと考えて、Hondaへ入社しました。

越智_エンジニア時代には環境対応型エンジンのエキスパートとして活躍されました。Hondaが環境問題に取り組み始めたのはいつごろからですか。

戦に積極的な姿勢を思い出させます。この宣言にはどのような意図が含まれているのでしょうか。

三部_ガソリン車からの脱却は、昨今重要性が叫ばれているカーボンニュートラルを実現するための目標です。ガソリン車がエンジンを稼働させる限り、その前後の過程でどのように温室効果ガスをやりくりしても、この目標は達成できません。高精度のエンジンを製作できることが当社の強みであり誇りであるだけでなく、その功績のみに固執せず、次世代に対応するために一から新しい技術を開発することを決断しました。世間一般に向けた宣言でもありましたが、それ以上に社内へ向けて意志表明をしたという意味合いが強いです。

越智_Hondaの真の強みである「チャレンジ精神」を大切にするための、大きな決断だったのですね。また、従来の自動車開発の枠組みを大きく超える事業も発表されていました。

三部_はい、新しいモビリティ分野の開発にも力を入れます。10年後、移動手段は3次元的な進化を遂げると考えられています。現代では地面を走る移動手段がメインで、飛行機などの航空移動にはまだまだ大きな用地やコストがかかります。そんな「空飛ぶ乗り物」をより身近なものにするために、現在「Honda eVTOL」という電動垂直離着陸機を開発中です。これは、人間も搭乗できる大型の



ドローンのようなもの、と表現するとイメージしやすいでしょう。スペースが限られた都市部でも離発着が可能で、都市間をよりスムーズに移動できます。その他、宇宙空間も生活圏の一部と捉え、ロケット事業も展開しています。

越智_どの事業も心躍るような夢のある内容です。Hondaの挑戦は未来へ向けてこれからも続いていくのですね。

❏ 世界のニーズを的確に捉える

越智_三部さんは大学院を修士で修了後、すぐに企業で活躍されましたが、現在も多くの人が2年間で大学院を離れ、企業へ就職しています。早

本田技研工業株式会社
取締役 代表執行役社長
三部 敏宏 みべとしひろ

1961年生まれ。大阪府豊中市出身。広島大学工学部第一類に入学後、同大学の大学院工学研究科へ進学し、1987年に修了。その後本田技研工業へ入社し、エンジニアなどをを経て2021年に同社の社長に就任。



広島大学 学長
越智 光夫 おちみつお

1952年生まれ。愛媛県今治市出身。広島大学医学部卒業後、整形外科に入局。2002年広島大学大学院医歯薬学総合研究科教授に就任。広島大学病院長を経て2015年から現職。2015年に栄褒章を受章。



開発中の「eVTOL」のモデル。
新たな移動手段の実現を目指す



期から社会で活躍する人材が増える一方、この傾向は学界と産業界の研究力の分散を招いているとして大きな課題になっています。



厳しい環境規制に対し、世界に先駆けて低公害・低燃費を実現した「シビックCVCC」

この体制を見習い、日本でも2014年に各自動車メーカーが合同で、「自動車用内燃機関技術研究組合」という産学官連携組織を設立しました。企業の人材が大学の研究内容を学ぶことで産業界の技術力を向上させたり、技術開発の現場が直面している課題を学界に共有して新たな研究テーマを開拓したりと、さまざまなシナジーが生まれるきっかけになりました。

越智_まさに理想的な産学官連携の姿です。しかし、そのような事例はまだ少ないのが現状です。日本の科学技術を今後さらに発展させるには、どのような視点が必要ですか。

三部_従来の功績にとらわれず、今の世界のニーズを的確に捉えた技術開発を行うことが

重要です。例えば日本の自動車開発の技術は常に世界をリードしてきましたが、これからもその技術が必要とされるかは分かりません。

越智_現在、世界はデジタル産業に支えられているとも言われています。日本もこの最先端の産業に追いつかなければならない、とお考えでしょうか。

三部_デジタル産業において日本は他国に後れを取っており、今から注力しても追いつくのは至難でしょう。一方で日本には優秀なハードを開発する技術があるので、その技術とデジタル産業を融合させるプラットフォームを開拓できれば、新しい価値を生み出せると考えています。

リーダーは目標を明確に

越智_学生時代から研究に携わってこられた三部さんですが、現在は社長という立場になり、仕事に対する考えも変化したのではないのでしょうか。Hondaを率いるリーダーとして、どのようなことを大切にされていますか。

三部_目標を明確に示すことです。社員全員が同じ方向を目指して業務に当たれるよう、過程も含めて、向かうべき方向をはっきりと見える形で定めることが必要だと考えています。

越智_社長就任時のガソリン車全廃と電気・燃料電池自動車への完全移行宣言には、そういった狙いも込められていたのですね。先ほどはグローバルな視点の必要性に言及されていましたが、人材育成の観点から、学生時代の留学についてもお聞かせください。広島大学ではさまざまなプログラムを設け、留学を積極的に支援しています。

三部_職種に関係なく、留学経験は必ず役に立つと思います。Hondaの社内でも、国際感覚を磨いた社員は、研究開発の現場をリードできる人材になっていることが多いです。

越智_ありがとうございます。留学を考えている学生への力強い後押しになりました。最後に、広島大学で学んでいる学生に向けたメッセージをお願いします。

三部_自分ができることの延長線上に目標を定めず、今自分ができないことにチャレンジしてください。自分自身の可能性に挑戦することは、必ず自信につながります。

越智_本日はありがとうございました。

もっと Plus な 広大

学長対談のテーマにちなんで、広島大学をもっとよく知るためのTOPICSを紹介。あなたにも社会にもプラスになる大学の取り組みや魅力をお届けします。

Student Activity



大会での一枚。マシンとともにさまざまな苦節を乗り越えてきました

車への熱い思いを胸に羽ばたく 広島大学フェニックスレーシング

広島大学にも、車への高い志を持った学生たちがいます。「広島大学学生フォーミュラ Phoenix Racing(フェニックスレーシング)」は、2008年に工学部の西田恵哉教授の呼びかけのもと結成された、学生によるレーシングチーム。学生版F1「Formula SAE Japan」の優

勝を目指し、日々活動中です。国内の名だたる自動車メーカーがスポンサーを務めるこの大会では、安全性・デザイン・コストなどの審査項目と走行タイム・燃費を計測する実地テストを通し、全国の学生チームがマシンの性能を競います。結成翌年の2009年から大会への出場を続ける同チーム。これまで数多くの難題に直面してきましたが、何度失敗しても立ち上がり、勝利へ向かってさらなる躍進を続けます。

Education



多くの実験研究棟を有する工学部。多彩な研究が日々行われています

日本のモノづくりを担う 確かな技術を持つ人材を育成

広島大学の工学部には第一類から第四類までの4つの類があり、機械工学・電子工学・応用化学・建築学など、多彩な分野の教育が行われています。第一類では機械工学の先端技術を幅広く学べる他、それぞれの技術をつなぎ合わせるシステム統合化技術の習得が可能です。

Column

反応性の 高速流動現象を 科学し、操る



三部社長がかつて大学院で所属した「内燃機関学研究室」は機械工学プログラムの「反応気体力学研究室」へと名称が変更されました。現在は爆発的な化学反応や核融合反応を伴う流動現象に関するさまざまな研究・教育が行われています。

Inspiration

広島大学の卒業生として 日本の未来を担う後輩へエールを

2021年11月10日、広島大学の東広島キャンパスに三部社長が卒業後初の来学。日本自動車工業会主催で「意志をもって動き出そうとしている、変革の主体者たちへ」と題された講演を行いました。講演では自身の大学生活やHonda入社後のキャリアを紹介しつつ、時には学生を激励する場面も。「自分にで

きることはこんなものだと安易に決めつけず、目標はできる限り高く大きく設定してほしい。皆さん一人一人が社会を変革していく主体者だ」と熱いメッセージを送りました。講演後の質疑応答では、自動車業界の未来について学生と積極的に意見交換。また、会場前にはHondaの技術の結晶であるF1マシン「AT02」や現在開発中の「eVTOL」の模型などが展示されました。

講演の動画をYouTubeでチェック!



特集 | 世界に挑む広大 #1

情報科学に境界はない

近ごろ、ビッグデータやAI(人工知能)、

DX(デジタル・トランスフォーメーション)などの単語を目にしないう日はありません。

デジタル技術は瞬刻間に進化し、私たちの暮らしに浸透してきました。

そのような社会で活用されているデジタル技術について

ハードからソフトまで幅広く研究するのが、「情報科学」という学問です。

また、これからの社会ではデータサイエンスやAIの知識は

「読み・書き・そろばん」のような基礎的な知識(リテラシー)になると言われています。

デジタルネイティブの若者たちは、

これまでの枠を超え、さまざまな産業に情報の知識やスキルを活用し

社会を変えていくでしょう。

今回の特集では、

次代の技術を生み出す、広島大学の情報科学研究や、

DXを担う人材育成への取り組みに迫ります。

AIに“知識”を与え、究極のモデル構築を目指す

人の脳のような究極のモデルを目指して

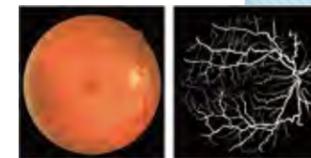
第3次AIブームと言われるほど、現在AI(人工知能)が注目を浴びています。近年AIが実用化されるようになった背景にあるのが、「機械学習」という技術。多くのデータを基にAI自身が学習し、データのモデル(特徴や規則性)を抽出することによって、複雑な判断や予測ができるようになりました。

私の研究は、人の脳をAIで再現したいという思いから始まりました。どんなデータを入力しても正解を導ける、まるで人間の脳のような“究極のモデル”をつくることが目標です。そのために、脳科学や数学などの知見を用いながら、AIの本質を見極める研究を行っています。

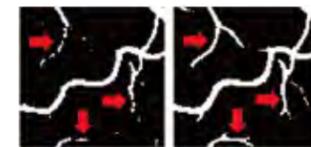
私たちの常識をインプット

私はAIに事前知識を与えることで、処理の精度を上げる研究をしています。例えば、眼底画像から血管の位置を抽出する課題を実行する前に、あらかじめ「血管は全てつながっている」という私たちにとっては当たり前の知識を、オイラーの多面体定理という数学的知識を応用してAIにインプットしました。すると、眼底画像のデータだけでは得られない知識を得たことで、血管を抽出する精度が向上したのです。

医療に限らず、さまざまな課題が研究対象です。ブームの中で官民間問わず幅広い研究が行われており、これからもAIは進化を続けるでしょう。



眼底画像 医学の専門家が抽出した血管領域



事前知識を与えないAIが推定した血管領域 事前知識を与えたAIが推定した血管領域

事前知識を与えたAIの方がはつきりと血管を認識しています

Profile



栗田 多喜夫 教授
大学院 先進理工系科学研究科
専門分野は/パターン認識、画像認識、ニューラルネットワーク。

次世代ネットワークの基盤となるアルゴリズムを設計

ネットワーク全体を調整できるアルゴリズムを設計中

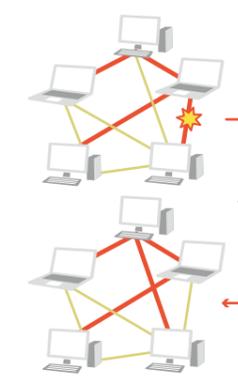
私は、分散アルゴリズムの設計について研究しており、私の考えたアルゴリズム(計算方法)で、ある課題が解けることを理論的に証明しています。例えば、銀行のシステム障害などに見られるように、ネットワーク上の一つのPCが故障してしまったとします。それを情報発信側のPCが検知し、自動的に通信経路を変えてくれるアルゴリズムがあれば、故障の影響なく安定したネットワークが実現できるはずで

このように、ネットワーク上の計算機が協力して全体を調整するシステムを理論的に設計し、その正しさを証明します。うまく証明ができたときは、まるでパズルのピースがはまったような達成感を感じます。

一つ一つの基礎研究が未来の技術の礎に

5Gをはじめとする最新技術は、従来の技術の課題をできる限りクリアすべく開発されていますが、一つ一つの課題を地道に解決してきたのが基礎理論です。私の研究がすぐに社会の役に立つわけではありませんが、未来のネットワーク技術のために、コツコツとアルゴリズムの設計を頑張りたいです。

また、インターネット上の口コミやSNSなど膨大な情報を用いて、ユーザーに適した情報を推薦してくれるシステムの開発を学生と一緒にしています。こちらは基礎理論とは異なりプログラミングや計算機などを用いる研究です。研究内容や手法にかかわらず、理論的思考を身に付けた学生を育てたいですね。



一時的な故障が起こってもうまく動作する仕組みを、自己安定アルゴリズムと言います

Profile



亀井 清華 准教授
大学院 先進理工系科学研究科
専門分野は分散アルゴリズム。

広島から花開く DX教育

DX(Digital Transformation | デジタルトランスフォーメーション)とは、デジタル技術を用いて私たちの暮らしをより豊かに変えること。これからの日本社会で求められるDX人材の育成が、広島大学で始まっています。

情報科学部
新学部長に聞く！



Profile
土肥 正 教授
2022年4月から情報科学部長、AI・データイノベーション教育研究センター長に就任。専門分野は高信頼システム、ソフトウェア工学。

あらゆる分野で求められる「DX人材」とは

世界と比べ、DXが遅れていると言われる日本。デジタル技術を活用した社会構造の変革が急務とされていますが、ただ知識を得るだけでは、DXは実現できません。特に広島のような地方都市では、デジタル技術やITの知識をモノづくりなどの地場産業に応用することで、社会をより良く変えていく必要があります。デジタル技術をさまざまな分野に活用できる「DX

人材」が、今求められているのです。広島大学は、データを扱える人材の育成という社会の要請に応え、2018年に全国に先駆けて情報科学部を開設しました。現在はDX人材育成のための教育を、全学をあげて実施しています。日々進歩するデジタル技術や社会の動きに合わせて、広島大学も道を切り開いていきます。



国内外から集まる教員の専門が心理学や統計学、機械学習など多岐に渡るのも、広島大学の情報科学教育の強みです



TOPICS

卵巣がんにおけるAI医療ナビゲーションシステムの開発に挑戦！

大学院医系科学研究科産科婦人科学の古宇 家正講師と大学院統合生命科学研究所基礎生物学プログラムの菊池 裕教授らが、AIを用いて卵巣がんの診断・治療効果予測を行うシステム開発のため、2022年2月から3月にかけてクラウドファンディングを行いました。寄附総額は合計500万円を達成。卵巣がんにおいて、患者さんごとに最適な治療法を選択する“個別化医療”が可能になる未来を目指して、これからも研究を進めています。



クラウドファンディングへのご支援ありがとうございました！



日本を変革する情報のプロを育む

4月から情報科学部の新カリキュラムが始動

2022年度に再編した新カリキュラムでは、最新IT技術に精通し、日本を変えるDX人材を育成します。カリキュラムは、これまでの2コース制から、3プログラム制に。1年次終了時に計算機科学、データ科学、知能科学に分かれ、早くから専門分野について学べます。また、履修モデル(授業の取り方)の自由度が高くなり、他学部の専門科目を受講したり、卒業論文の代わりにインターンシップに参加したりできるように。DXのベースとなる他分野の知識を得たり、企業で即戦力となるスキルを磨けたりと、DX人材として成長できます。

専門と履修を自由に組み合わせ！
情報科学部の新カリキュラム



計量経済学の研究室で、データサイエンスを学びました。データ分析スキルを生かし、春からはコンサルティング会社で働きます！
※2022年2月取材時



2021年度卒業
福井 光さん

文理を問わず全ての学生に基礎レベルの素養



リテラシーレベルの授業では、プログラミングやAI、統計データ解析などが分かりやすく学べます。

全学部を対象とした授業を実施

12学部という国公立大学でも最多の学部数を誇る広島大学。文理を問わずデータサイエンスやAIの素養を身に付けられるよう、全学部を対象としたリテラシーレベルの授業を実施しています。学生たちは基礎的なITの知識・スキルと学部で学ぶ専門的知識を融合させ、それぞれの分野でDXを推進する力を養います。また、そのうちの半数はさらにステップアップした応用基礎レベルの授業も履修。今後は、博士課程の学生を対象としたエキスパートレベルの授業も開設予定です。

中国地方の人材育成をリード

地域へ広がるDX教育の輪

広島大学は、学内だけではなく地域全体にDX教育を広げています。2020年には「AI・データイノベーション教育研究センター」を設置し、広島県下の企業等に対するリカレント教育を行うために、カリキュラムの提供や講師の派遣等を実施しました。また、文部科学省が実施する「数理・データサイエンス・AI教育の全国展開の推進」で、2022年度から中国ブロックの拠点校に認定。中国地方をリードする拠点校としてさらに人材育成に力を入れることはもちろん、中国地方の全ての国公立大学と連携しDX教育を普及させます。



Hint 1

排水処理を世界中に普及の鍵は微生物

大橋 晶良 教授



発展途上国では河川の水を直接生活用水にしてしまう場合も多い

① 多額の費用がかかる水環境保全

汚れた水をきれいに処理して自然に戻す排水処理施設。実は、日本をはじめとした多くの先進国では、微生物がその役割を担います。「活性汚泥法」と呼ばれるこの方法。微生物任せのため一見省エネにも思えますが、実際には多くのエネルギーを消費します。

活性汚泥法には酸素を必要とする「好気性微生物」が用いられますが、タンクの底の微生物に酸素を送るためには、莫大な電力で送気ポンプを作動させなければなりません。また、この微生物は処理能力に加えて繁殖力も非常に高く、有機物を分解するほど爆発的に増殖します。タンク内の微生物の量を一定に保つためにも、さらなるエネルギーが必要になります。このように、好気性微生物という処理の担い手は実に多大な費用を要求するのです。このコストが原因で、ほとんどの発展途上国では、排水処理施設が導入されない状況が今も続いています。

② つの微生物のハイブリッドで新たな処理システムを

この問題を解決するため、私は新しいシステムの研究開発に取り組んできました。現在開発に成功しているのは、「UASB法」と「DHSリアクター」の併用システム。UASB法では、「嫌気性微生物」という、酸素なしでも活動できる微生物を利用します。この微生物には送気ポンプが必要なく、繁殖力も低いいため、コストを抑えられはするものの、処理品質に問題が残りました。そのフォローのために開発したのが「DHSリアクター」。UASB法で処理した水を好気性微生物が入ったスポンジに流し込み、よりきれいに



DHSリアクターを用いた研究の様子

する仕組みです。常に空気と接しているのでもちろん送気ポンプは要らず、ある程度処理した水が流れ込むため、微生物の増殖も軽減できます。

2014年にインドで我々が実用化に成功して以来、このシステムは活性汚泥法の問題点を解決する新技術として、先進国にも広まり始めています。

研究は現在発展段階に移行中。今までは処理不可能だった成分に関する研究を行っています。処理技術の幅を広げ、環境へ与える影響をさらに詳細に制御することを目指します。

PROFILE | おおし あきよし
大学院先進理工学系科学研究科
社会基盤環境工学プログラムに
所属。環境保全工学研究室にお
いて、微生物を用いた排水の処理
技術に関する研究を行う。DHS
(Down-flow Hanging Sponge)リ
アクター研究の第一人者。



広大

もったいなれっじ

持続可能な
未来のヒント

広島大学の研究室では、SDGsの達成に貢献するさまざまな知が日夜生まれています。読めば必ずためになる、こんなに魅力的な研究を知らないなんて、もったいない!



Hint 2

生態系を豊かにする自然界の小さな功労者

小原 静夏 助教

PROFILE | おおし ずか
大学院統合生命科学研究所 生物資源科学プログラムに所属。人為起源の化学物質が植物プランクトンの量や種形成に及ぼす影響を研究している。

植 物プランクトンが海や河川を左右

無機物から有機物を生み出す生産者として生態系を支えている植物プランクトン。海や河川に生息するこの小さな生物と人間は、密接に関わっているのです。

例えば、植物プランクトンが急増する「赤潮」は、窒素やリンなどの栄養塩を多量に含む生活排水や工業排水が、河川を通して一気に海へ流れ込むこと(富栄養化)が起こす現象。増えること自体は問題ないのですが、魚のエラにつまったり、エラに触れて有害な物質を

発生させたりして、海の生態系を害します。

逆に、植物プランクトンの数が減りすぎると漁獲量の低下につながることも。赤潮を防ぐための排水規制の強化などにより、栄養塩の量が減少(貧栄養化)したり、排水中の化学物質が植物プランクトンの成長を阻害したりすることが原因と考えられています。



真水と赤潮の比較。少量でも明確に色が異なる

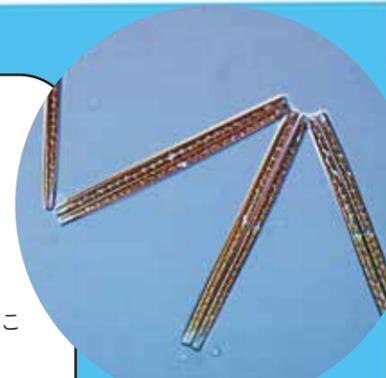
環 境に優しい化学製品開発のきっかけに

陸での人間の活動は、海の生態系と切っても切り離せない関係にあります。特に瀬戸内海のような陸域に囲まれた海は、排水が沿岸にとどまりやすく、陸からの影響を大きく受けます。水産資源を守るためには、排水が海に与える影響を深く理解し、海が今のような状況にあるかを常に把握する必要があります。

私は瀬戸内海の生態系を豊かにするため、人間が陸上で利用した化学物質が植物プランクトンに与える影響について研究しています。現在

の研究結果では、陸上植物を枯らす化学物質である除草剤の影響は特に大きく、低濃度でも植物プランクトンの増殖率を半減させてしまうことが分かっています。

しかし、化学物質を利用した製品は人間社会に無くてはならないもの。有害だからと言って、今すぐに利用を止めることはできません。研究を進め、化学物質と植物プランクトンの関係性を解明することで、環境に優しい製品を選ぶ指針や、生態系に配慮した製品開発のきっかけをつくりたいと考えています。



植物プランクトンの一種「タラシオネマ」



今回は、人と水を取り巻く環境について特集。地球の表面積の約7割を占める海や河川、湖に、人間はどのような影響を与えているのでしょうか。美しい「水の惑星」を守るための研究を紹介します。

AERA が書く 研究者の素顔

研究者は普段どのような一日を送り、研究に取り組んでいるのか。学問との出会いや、探究の原動力は何だったのか。人物、スポーツ、文化、政治、経済、事件…幅広いジャンルを取材するAERA記者が研究者の素顔に迫ります。

[AERA]
「時代」をキーワードに独自の切り口で描くニュース週刊誌。国内外の重大ニュースから身の回りの小さな出来事まで「時代」を敏感にキャッチし、独自の視点で掘り下げた記事をお届けしています。

超微小外科の最先端を走る。で。

光嶋 勲
寄附講座教授

広島大学病院
国際リンパ浮腫治療学講座



こうしま・いさお / 1952年、岡山県生まれ。76年、鳥取大学医学部卒業。東京大学医学部形成外科で顕微鏡下微小血管吻合術を学び、血管付き神経移植で学位取得。岡山大学教授、東京大学教授などを歴任し、2017年4月、広島大学病院国際リンパ浮腫センター特任教授に就任。21年から現職。海外でのライブ手術や講演を多数こなす他、海外からの手術見学者を直接指導もする。

再建形成外科の分野に 革命をもたらした

顕微鏡をのぞきながら、わずか0.05ミリの針を使って0.3ミリの血管やリンパ管、神経をつなぎ合わせる「超微小外科技術」——。光嶋勲教授はこの分野で世界の最先端をいく。

超微小外科技術は切断された指の再建や乳房・頭頸部などが治療に伴って欠損した部位の再建などを可能とする。特に光嶋教授が1980年代半ばに開発した「穿通枝皮弁術」は「再建形成外科の革命」といわれた。乳房再建では下腹部の筋肉ごと皮膚組織を移植する手術が主流だが、術後に腹筋が弱くなり、患者は腰痛や脱腸などに悩まされることも少なくなかった。これに対して穿通枝皮弁術では、脂肪組織に酸素や栄養を送る直径0.5ミリの血管（穿通枝）をはがし、筋肉を傷つけず、そのまま脂肪組織を切り取って移植先の血管とつなぐため、腹部の筋肉が損なわれることはない。運動機能にも支障が出ない。

「当初は『ありえない』と言われました。英国の医学専門誌に論文が掲載されたことで、ようやく世界で認められるようになったのです」

世界に先駆けて 理想的な医療施設をオープン

体にたまった老廃物を運搬するリンパ管がふさがり、腕や足にむくみ（浮腫）を生じるのがリンパ浮腫。乳がんなどの手術や、抗がん剤治療などでリンパ管の機能が低下して発症する。症状が進行すると歩行困難になり、外見上の変化で精神的苦痛を感じる患者も多い。治療は圧迫などの理学療法が中心で、手術による治療法はない。光嶋教授は1990年、リンパ管と静脈をバイパスすることでリンパ浮腫を治療する「リンパ管静脈吻合」の技術を開発した。不治の病といわれてきた中、患者は治療という光明を見いだした。

広島大学病院は2017年4月、学長の強い意向も受けて、リンパ浮腫の治療に特化した国際リンパ浮腫治療センターを世界に先駆けて開設した。

- 1 ニューヨーク州立大学にて、ライブ手術講演会を実施。約300人が参加し、光嶋教授から技術を学んだ
- 2 柔道では部の主将、居合道では有段者の実力。現在も休日には居合刀やヌンチャクを手に取り、体を動かす

光嶋教授が編み出したリンパ管静脈吻合と理学療法を組み合わせた複合理学療法を中心に治療を行う。リンパ浮腫の専門知識をもつ看護師などのスタッフを多数擁する、理想的な医療施設だ。センター開設によって、加齢でリンパ管の機能が低下する老年性リンパ浮腫の患者が多いことや、



原爆被爆によるリンパ浮腫の患者がいることなどが分かってきた。

「リンパ浮腫の患者を治療するには外科手術を行える医師をもっと増やす必要があります。そのためにも当センターの治療法や治療実績を世界に向けて発信していきたいと考えています」

技術を基礎とした 独創的な発想が必要

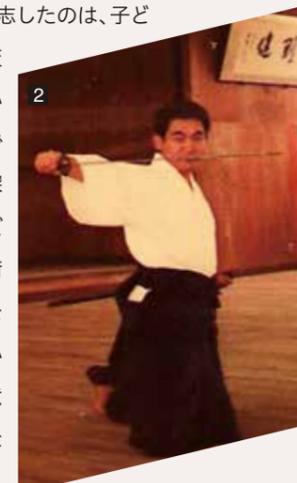
センターは海外からの患者も多く、年間300例もの手術実績をもつ。手術は20時間以上に及ぶこともあり、体力を要求される。光嶋教授は学生時代から柔道や空手、居合道で体を鍛えてきたことが役立っているという。ライブ手術や講演を海外でする機会も多く、懇親会などで居合を演ずることもある。

光嶋教授が形成外科医を志したのは、子どものころ、骨髄炎の手術で変形した伯母のあごを治したいと思ったからだ。東京大学での研修医時代には勤務後、深夜まで顕微鏡をのぞいてネズミの毛細血管を縫合し技術を高めていった。その日々を支えたのは、「誰にもできないことをやりたい」との強い意志だ。これが後の世界初となる技術の開発につながった。

「治せない病気を治そうと思えば、技術を基礎とした独創的な発想が必要です」

神経や血管のバイパス手術は神経まひ、脳梗塞、心筋梗塞の予防にも役立つ可能性がある。治療から予防へ。超微小外科技術の可能性は広がる。光嶋教授は、広島大学から世界をリードする人材が巣立っていくことを期待する。

取材・文 / 朝日新聞出版 西島 博之



地球規模のトピックから地域密着のエピソードまで、
 広島大学の取り組みを GLOBAL（国際）と LOCAL（地域）の両面から
 紹介するコーナーです。



「MIRAI CREA」での 国際交流イベントがスタートしました



伝統的な衣装や楽器を使った実演などが賑やかに行われました

東広島市の国際化の 新たな発信源として

2021年秋に開館した広島大学フェニックス国際センター「MIRAI CREA（ミライ クリエ）」で、留学生と東広島市民との交流イベントがスタートしました。各国コミュニティの形成や異文化交流の促進を図ると共に、さまざまなバックグラウンドを持つ市民に向けたイベントを通じて、東広島市の国際化の新たな発信源となることを目標としています。

ASEANやアフリカ諸国の 歴史・文化紹介も

第1回は2021年11月19日。本学のASEAN諸国（インドネシア、カンボジア、タイ、フィリピン、ベトナム、ミャンマー）の留学生と東広島市議会議員が参加し、東広島市の魅力や活性化についての意見交換などを行った他、

各国のブースに分かれ留学生らが自国の文化を紹介しました。

12月18日には第2回「アフリカ文化フェア」が開催されました。アフリカ諸国（カメルーン、ガボン、ガーナ、ケニア、ルワンダ、レソト、セネガル）の留学生が母国の歴史や文化を紹介し、参加者らが熱心に質問をしていました。

東広島市からの委託を受けた国際交流イベントは今後も開催される予定です。



将来的には、現地への短期・中長期派遣も実施予定。アフリカの歴史・文化の多様性に触れながら、世界で通用する英語力や課題解決力を身に付けます。「この取り組みを機に、留学を希望するアフリカの学生も増えてきている。派遣・受入の双方を推進していきたい」と担当の金子慎治理事・副学長（グローバル化担当）は語っています。



プト4大学（カイロ大学、アインシャムス大学、アスワン大学、ベニスエフ大学）、サブサハラ地域のザンビア大学とマラウイ大学との共同で、トライアングル海外学習プログラムを構築。教育、保健医療、食料安全保障の3分野を中心に、日本とアフリカの懸け橋となり、アフリカの経済発展を主導する人材育成を目指します。

現地の多様性を肌で感じられる 派遣プログラムも実施予定

コロナ禍においては、オンラインで講義を実施。平和、SDGs、国際協力などをテーマに、広島大学の学生とアフリカの学生が協働で学びます。参加した日本人学生からは「オンラインだから気軽に参加できる」「アフリカを身近に感じられた」と好評です。

アフリカの6大学と 共同プログラムを キックオフ

アフリカの経済発展を牽引する 人材を育成

多様な文化・歴史、豊富な資源を抱えるアフリカは、今後大きな経済成長が期待される地域。昨今重要性が叫ばれるSDGsなどの地球規模の課題解決に向けては、日本との連携が期待されています。

広島大学では、北アフリカ地域のエジ

「ひろしま好きじゃけんコンソーシアム」が発足

“産学官金”のWin-Winとなる 連携を目指して

広島大学は2021年10月、DXにより国内外企業や組織との多様な連携を目指す「ひろしま好きじゃけんコンソーシアム」を発足しました。

ポストコロナを見据えたニューノーマルに適應するため急速に普及したデジタルツールを活用。イノベーションを生み出す気軽な“出会いときっかけ”を創出する仕組みを構築しています。本学の持つ知的資産や学生の活力を幅広く提供し、地域経済の活性化・発展につなげます。

Slackで企業と大学を 簡単・迅速につなぐ

当コンソーシアムの最大の特長は、コミュニケーションツールSlackを活用したオープンチャット方式の導入。会員は誰でもいつでも議論に参加でき、さまざまなアイデア交換や情報収集が可能です。また、企業ニーズに合致する本学の優良コンテンツを企業向けオンライン教材として公開。学生発のベンチャー支援にも力を入れています。

コンソーシアム副会長を務める田原栄俊副学長（産学連携担当）は、「こうした新たな取り組みを地方創生の一つのモデル

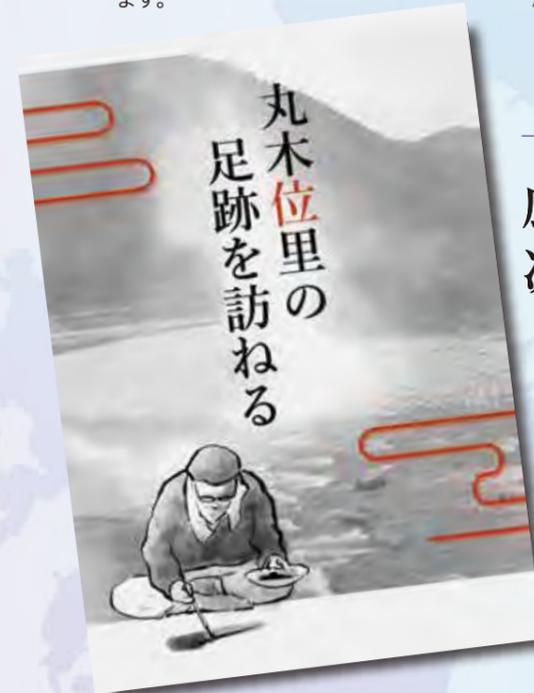
広島大学の教職員やコーディネーターが常時回答してくれるので、より効率的に案件が進みます

ケースとして全国に発信していくことは、地方大学が果たすべき重要な役割だと考えます。3年以内に会員企業1000社を目指したい」と抱負を述べました。2022年末まで無料で入会できますので、企業の皆さまからの連絡をお待ちしています。



LOCAL

広島ゆかりの画家、丸木位里の思いを 次世代へ継承するプロジェクト



プロジェクトの集大成として教育学部造形芸術系コース有志がパンフレットを作成。挿画は学生によるもの



地元の方向けに、パネル展示や講演会なども企画されました

地域社会が直面する課題の解決や地域活性化のため、本学の学術的な蓄積や教員・学生の力を活用し、調査や実践活動に取り組んでいる地域連携事業「地域の元気応援プロジェクト」。

令和3年度に採択された「丸木位里と故郷・飯室マップ作成、作品調査」では、教育学部造形芸術

系コースの多田羅多起子准教授と学生有志、地域団体がチームとなって活動しました。

地域活性化とともに 平和発信にも貢献を

丸木は妻の俊と制作した『原爆の図』の連作で世界的に知られる画家で、出身地の安佐北区安佐町飯室には作品が数多

く残ります。しかし、戦争を知る住民の高齢化や作品所蔵者の世代交代などにより、地元での認知度は必ずしも十分とは言えませんでした。そこでプロジェクトチームは地元で聞き取りを行い、関連書籍から飯室の情報を抽出して、地域の所有作品を調査。ゆかりの場所を示した地図を作成してリーフレットに収録しました。

多田羅准教授は「調査の成果が今後の継承や地域活性化に役立つよう、分かりやすくまとめました。身近な存在として“位里さん”に親しみを感じてもらい、彼がなぜ『原爆の図』を描いたのか、平和について考えを深めるきっかけにもなれば」と話します。また、参加した学生からは、「地域に自分たちの活動が直接届いた」という喜びの声が聞かれました。

留学体験記

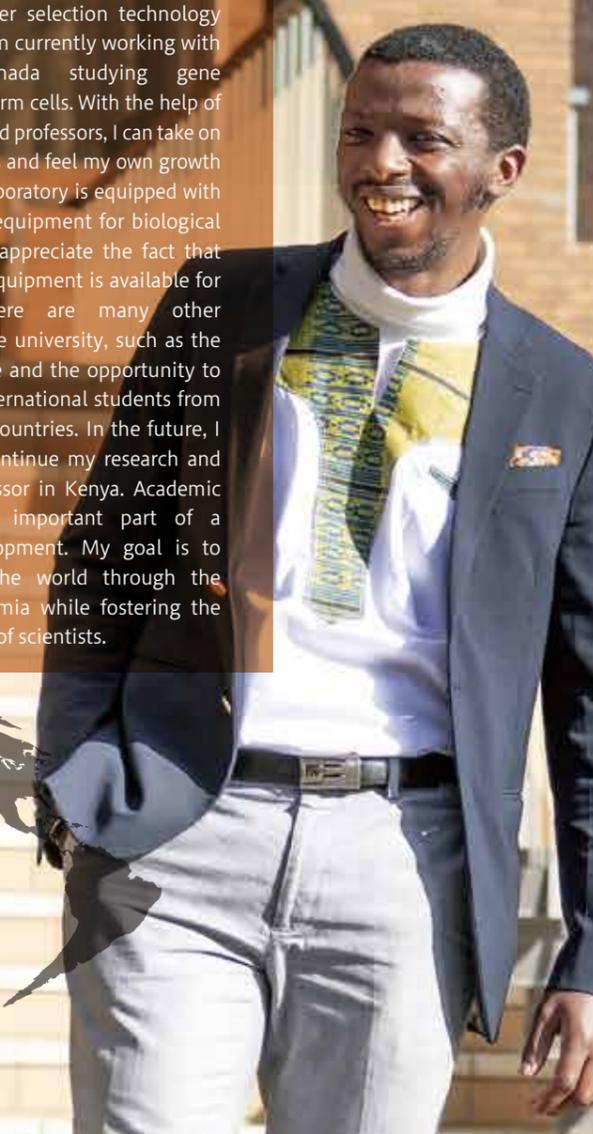
最先端の研究室で 世界の発展に貢献できる 生命科学者をを目指す

ケニアで児童養護施設のボランティアをしていた時、日本人の友人と交流したことがきっかけで、日本の文化や先進的な技術に魅力を感じ、留学を志しました。現在の指導教員である島田昌之教授が家畜の雄雌の産み分け技術を開発したという世界的なニュースをオンラインで知り、教授に連絡。現在は島田教授のもとで精細胞における遺伝子発現について研究しています。仲間や先生方に助けられながら、やりがいのある課題に挑戦でき、日々自身の成長を実感しています。私の所属研究室は、生物研究のための最先端の設備を備えており、実験機器が24時間いつでも利用可能なため、とてもありがたいです。他にも、自然の美しさや、さまざまな国の留学生との交流など、大学の魅力を挙げればきりがありません。今後は研究を進め、ケニアで大学教員になりたいと考えています。学術研究は、国の発展の柱となる重要な業務。次代の科学者を育てながら、学問の力で世界に貢献することが目標です。

Aiming to become a life scientist who can contribute to the development of the world in a state-of-the-art laboratory

When I was volunteering for an orphanage in Kenya, I interacted with a Japanese friend, an experience that led to my fascination with Japan's culture and advanced technology, and the reason why I decided to study abroad. I contacted my current advisor, Professor Masayuki Shimada, after learning about the news online that he had successfully developed gender selection technology for livestock. I am currently working with Professor Shimada studying gene expression in sperm cells. With the help of my colleagues and professors, I can take on challenging tasks and feel my own growth every day. My laboratory is equipped with state-of-the-art equipment for biological research, and I appreciate the fact that the laboratory equipment is available for use 24/7. There are many other attractions of the university, such as the beauty of nature and the opportunity to interact with international students from many different countries. In the future, I would like to continue my research and become a professor in Kenya. Academic research is an important part of a country's development. My goal is to contribute to the world through the power of academia while fostering the next generation of scientists.

Wambugu Enoc Njoroge さん
(ワムブグ エノックンジョロゲ)
大学院統合生命科学研究所
博士課程後期1年
出身国：ケニア
留学期間：1年6カ月



外国人留学生支援基金のお知らせ

経済的な困難を抱える私費外国人留学生に対し、支援を行い、安心して学業に専念できる環境を整えるために、外国人留学生支援基金を設置しております。皆さまの温かいご支援をお待ちしています。
(国際室国際部グローバル推進グループ)



一口1000円から
寄附が可能です！



©公益社団法人東広島市観光協会

酒造りから地域の文化を読み解く 公開講座「広島日本酒」

身近なテーマで 地域の魅力を再発見。 大人気の講座が再登場

日本の三大酒どころとして知られる西条。その文化を解き明かす人気の公開講座が2022年度も開講されます。今年度は地域を東広島から広島県内に広げて実施。「広島日本酒、伝統と人と技」をテーマに、広島風景や文化に溶け込んでいく酒造りの影響や、地域に伝わる日本酒の魅力、新しい酒造りの試みなどを学びます。

もともと東広島市の市民向け講座だったものをアレンジしてできた本講座。2021年度の「東広島日本酒学」は、「日本酒の奥深さに感激した」「地域の文化を知る機会になった」と受講者から大変好評でした。



詳しくはこちら

「東広島こどもスポーツキャンパス」が開催されました

みんなと一緒に 体を動かす楽しさを実感！

広島大学スポーツセンターと東広島市スポーツ健康まちづくりコンソーシアムの連携事業「東広島こどもスポーツキャンパス」が2021年11月に開催され、市内の小学生約230人が参加。本学体育会から剣道部、馬術部、サッカー部、バレーボール部、バスケットボール部、パドミントン部、硬式野球部、フットサル部の8団体の学生が指導にあたりました。子どもたちは希望した体験教室に参加し、みんなと一緒に体を動かす喜びを存分に味わいました。

参加した児童や保護者からは「楽しく

教えてくれた」「今後も定期的開催してほしい」との反響があり、指導した学生からも「スポーツ本来の楽しさを再認識した」との声が。コロナ禍で地域とのつながりが少ない中、双方にとって貴重な経験となりました。

地域のスポーツ振興に協力を

本学スポーツセンターでは、「児童向けWEBスポーツ教室」や「テレワーク体操実演セミナー」、スポーツ少年団への学生指導者派遣など、新たな生活様式を踏まえた地域スポーツ活性化のための取り組みを続けています。出口達也センター長は「今後も自治体等と協力して新たな地域連携活動を実施したい」と語りました。





広島大学を日々支えるオフィスやセンター。その業務の内容に迫ります。

こちら 総合戦略室!

Q1 総合戦略室の役割について教えてください。

A. 広島大学の将来構想に関する計画や経営に必要な情報の収集など、大学という組織を運営するための意思決定を支えることが総合戦略室の仕事です。社会の動きや本学が抱えている課題を把握

し、適切に判断できるよう、客観的な指標を用意することも大切な業務。学部や研究科等の組織改革にも私たちの分析が生かされています。

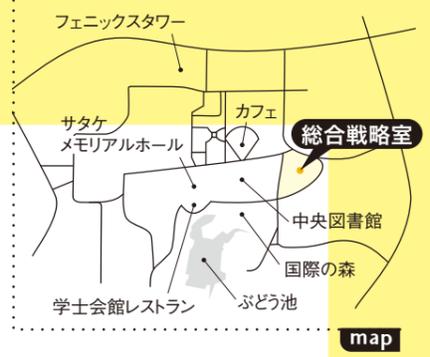


未来を見据えて今を動かす、大学経営のブレイン。

Q5 現在、最も力を入れているのはどのような業務ですか？

A. 2022年4月から6年間に達成すべき中期目標・中期計画に関わる業務です。本学の使命は、「平和を希求する大学」として人類の幸福に貢献すること。その実現

に向け、地域社会と国際社会をつなぐ知的拠点として、地方創生の主役を担い、平和を希求しチャレンジする国際的教養人を育成し、地域から地球規模に至る



Q2 メンバー構成や組織の雰囲気は？

A. 総合戦略室長をはじめ、グループリーダー、将来構想の企画や大学経営に関わる情報収集の各担当者、学長秘書など、16人で構成。通常業務時だけでなく急に休みを取る場合にも、お互いにカバーし合える絆があります。

Q3 総合戦略室の強みとは？

A. メンバーの多様性です。職員と教員で構成されていて、それぞれの経歴も多種多様。学生支援や国際交流などの業務経験者や、文部科学省や海外での勤務経験者など、一人一人が持ち味を発揮しています。

Q4 学内であまり知られていないPRポイントは？

A. 昨年、学内のさまざまなデータを可視化・分析することができるツール「HUIAI(ふうあい)システム」を構築しました。利用している教職員がまだ少ないので、どうすればもっと活用してもらえるか、皆で考えています。

社会課題の解決を目指します。未来に向けた大学経営と意思決定を、総合戦略室は支え続けます。

HIRO-DAI HEROES

キャンパスで、地域で、チャレンジする広大学生を紹介

HERO 19 蘆尾 柚貴 さん (あしお ゆずき) 文学部 4年

フランス語に魅了され、プレゼン大会で3位入賞

大学で初めて触れたフランス語。慣れない発音などに最初は苦労しましたが、「クーデター」など普段耳にする言葉にもフランス語が隠れていると気付いたことから身近に感じるように。言語の歴史や文法にも興味が湧き、フランス語の学習にのめりこみました。3年次には、全日本フランス語プレゼンテーション大会へ参加。正確な発音やイントネーションを目指して何度も練習し、苦手だった文法も総復習するなど、フランス語運用能力を高める絶好の機会になったと思います。また、他の参加者のスピーチを聞くことでモチベーションアップにもつながりました。結果として3位に入賞することができ、努力が認められたと感じています。今後は資格試験やフランスへの長期留学に挑戦し、さらに実力を高めていきたいです。

お気に入り講義：日仏比較文化論演習

フランス文化に関する講義で、ディスカッションが多く勉強になります



プレゼンテーション大会の授賞式の様子 | コロナ禍直前に、フランスへ短期留学できました



HERO 20 野崎 このは さん (のざき このは) 総合科学部 総合科学科 2年

学内外で動植物を調査、獣害対策にも取り組む

広島大学総合博物館公認学生ボランティア「キャンパス・スチューデント・レンジャー(CSR)」に参画しています。学内の植物への植栽プレート取り付けや、学内および広島県に生息する動植物の調査とデータベース化、ホームページ等での情報発信が主な活動。自然や環境に関する知識が増えることが楽しく、自分の成長も実感しています。また、環境省主催のローカルSDGsリーダー研修“migakiba”にも参加。環境やビジネスに関するウェビナーを受講し、チームで呉市・大崎下島での獣害問題にアプローチする事業計画の策定も行いました。これら学内外の活動を通じて、多くの人と出会うことができ、世界が広がりました。皆さんもぜひ興味のあることに積極的に挑戦して、充実した学生生活を送ってください。

お気に入り講義：生態学

実際にフィールドに出て計測したデータを自分で分析することができます



キャンパスにて、自分で撮影したイソヒヨドリ | CSRでQRコード付きの植栽プレートを設置しました



卒業生インタビュー / 私も

広大です

広島大学を卒業・修了後、各業界で活躍されている卒業生の方々に、現在のお仕事と大学時代を語っていただきました。



工学部 出身
山下 美衣 さん

株式会社ヒロテック
技術開発部 ドア製品設計課

やました・みえ / 広島大学工学部第一類2018年卒業。株式会社ヒロテックに入社後、技術開発部のドア製品設計課に配属される。現在はドア製品設計課に所属し、自動車のドアの開発・設計業務を担当している。



理学部・大学院理学研究科 出身
逸見 敬太郎 さん

広島市森林公園こんちゅう館
技師

へんみ・けいたろう / 広島大学理学部を2015年に卒業後、大学院へ進み両生類研究施設(現両生類研究センター)でカエルを研究。2018年、博士課程後期在籍中に広島市森林公園こんちゅう館へ就職。2020年、博士(理学)を取得。

加工技術の ダイナミズムに触れる

国内自動車メーカーのドアや排気システムの開発・製造を担う、株式会社ヒロテックに勤務しています。所属するドア製品設計課では、試作品を用いた実験とPCでのシミュレーションを通して自社製品の性能を測定する業務にあたっています。

ドアの性能を正確に把握するためには、あらゆる角度から実験を行うことが重要です。必要な測定方法は前例がない場合も多く、論文を手掛かりに方法を模索します。誰も知らなかったアプローチを考案できたときには、大きなやりがいを感じます。

私がドア製作の面白さに気付いたの

は、自動車メーカーのインターンシップで試作車の製作現場を見学したことがきっかけ。硬い鉄板が一つのしわやゆがみもなく、美しい流線形に加工される様に魅了されました。憧れの仕事に従事している今は、毎日が充実しています。

学生時代に身に付けた 適応力を生かして

在学中は、自分の知的好奇心の赴くままに、大学で開講されるさまざまな講義を受けていました。専攻に全く関係のない、他学部の授業を受けたこともあります。講義の内容が今の業務と直接つながることはありませんが、未知の分野に対する適応力や、何事にもチャレンジする姿勢は、その時の経験から培われました。もちろん、業務の中で工学部の学びに助

けられたことも多々あります。必修科目を通して身に付けた幅広い分野の基礎知識や、シミュレーションを使用した研究のノウハウは今も役立っています。

自動車が進化するにつれ、部品に求められる性能も日々変わっていきます。クライアントのどんな要望も形にできるよう、今後も自分の技術力をさらに伸ばしたいと考えています。

広大のここがええね!

業務で参照する論文には、学生時代に講義を受けていた先生の名前が載っていることも。企業の現場でも役立つ、最先端の研究を学んできたことを誇らしく感じました。

生き物好きが高じて 昆虫を仕事に

物心ついた頃から、大の生き物好き。中学以降、植物や魚、哺乳類、昆虫とさまざまな生き物を研究し、学生時代には自転車で東広島キャンパスから広島市森林公園こんちゅう館まで往復4時間かけてアルバイトに通っていました。中でも、昆虫の姿形の多様さや、まるで人間のような複雑な社会を構成する暮らしぶりにとても魅力を感じます。

現在はこんちゅう館の技師として、昆虫の飼育や展示業務、保育園などへの出張授業、絶滅危惧種の保護活動などに携わっています。特に昆虫のふ化について考える際には、広島大学で学んだ発生学などの知識が役立っています。ま

た、博士課程後期では「世界一かわいい」といわれるアフリカのフクラガエルを研究していたのですが、カエルは生餌しか食べないのでとても餌に気を配っていました。生き物の餌に対するノウハウは、現在昆虫の飼育にも生かされています。

生きた展示を通して 子どもたちに魅力を伝えたい

広島市のこんちゅう館は標本ではなく生きた昆虫の展示に特化した、日本でも珍しい施設です。それぞれの昆虫特有の行動を観察できるよう工夫した展示作りも、私の仕事の一つ。例えば、カバーを開けるとシロアリの巣の内部が見える飼育箱を自作しました。私の展示をきっかけに、子どもたちに生き物たちの

面白い生態を知ってもらいたいですね。昆虫の魅力伝える際に気を付けているのは、先入観を与えないこと。見て触って、どう感じるのかは子どもたちの感受性に任せるようにしています。

昨年の大雨の影響で現在※は閉館中ですが、開館した際には、元気な昆虫たちとよりパワーアップした展示を皆さんに楽しんでいただきたいと思います。

広大のここがええね!

東広島キャンパスは生き物好きにとって天国のような環境でした。珍しい生き物を探して、キャンパス中を走り回っていましたね。あれだけ生物多様性の豊かなキャンパスはなかなかないのではないのでしょうか。

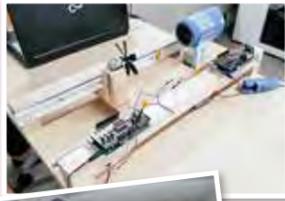
※ 2022年1月取材当時

英語を身に付けて

留学生との交流を楽しんで!

研究室に配属されて驚いたのは留学生の多さ。中国や韓国、インドなど出身地も多種多様で、いろいろな国の人と出会えました。唯一心残りなのが、英語が不得意で、留学生の人たちとコミュニケーションがあまりとれなかったこと。そのため、後輩の皆さんにはぜひ英語の勉強を頑張ってもらいたいです。中でもスピーキングのスキルを磨くと交流の輪が広がり、新しい世界が見えると思います。

研究室で作った、プロペラの回転速度が一定になるようにドライヤーの風量を制御する装置



友人と直島へドライブ! いろいろなところへ旅行に行きました



春からの進路
産業機械系の企業

大学院先進理工系科学研究科
博士課程前期 修了
小川 花子 さん

家族の背中を追いかけ広大へ。

周囲への感謝を忘れず、日々を大切に。

私の家は、両親も姉も広大出身の“広大一家”。英語教員の父に憧れ、私も同じ大学を志しました。入学当初、地元鳥取と同じくらい自然豊かなキャンパスと多彩なサークルに心躍ったのを今でも覚えています。卒業後は、教育実習でお世話になった広島大学附属中学校・高等学校で常勤講師をする予定です。大学生活は家族や友人、先生方の応援があってこそ。周囲への感謝を忘れずに日々を大切に過ごしてください。

アカペラサークルでは、100人規模のメンバーを取りまとめ、ライブのプロデューサーを務めました



サークルライブのフィナーレ! 活動の集大成です



春からの進路
教師

教育学部 第三類 卒業
景山 雄斗 さん

ようきんさったね! 広大

この春卒業した先輩からの yell

この春卒業した先輩から在学生の皆さんへのエールが届きました。アドバイスを参考に、これからの大学生活をもっと楽しんでください!

HU-style vol.18



春からの進路
国税専門官

経済学部 卒業
荒松 和希 さん



友人と一緒に道後温泉へ旅行に行きました



4年間お世話になったバイト先の店長と、何でも相談できる身近な大人でした

夜間コースでたくさんの出会い。

コロナ禍でもできる体験がある。

たくさんの良い出会いがあり、人間関係が高校のころの倍以上広がりました。私が通っていた夜間コースには、キャリアアップを目指す社会人学生や、学費を自分で賄う学生、研究に没頭する学生など、全国から集まったさまざまな人がいます。意欲的な彼らと学ぶのは、自らの進路について深く考えるきっかけになりました。コロナ禍でも、今だからできる体験があるはず。全力で大学生活を楽しんでください。



春からの進路
自動車メーカー

総合科学部 国際共創学科 卒業
Ho Dang Hai さん
(ホー・ダン・ハイ)

IGSのハロウィンは毎年仮装で盛り上がります



友人との旅行は思い出がたくさん

ベトナムから国際共創学科へ。

好きなことに挑戦して。

英語で学べる大学を探していたところ、国際共創学科(IGS)の募集が目にとまり、広島大学へ。新たにフランス語を勉強したり、なじみのない分野の卒業研究に取り組んだり、いろいろなことに挑戦できました。友人のおかげで日本語もかなり上達。大学での経験や学びが実を結び、第一志望のHondaから内定をもらうことができました。皆さんも限られた大学生活で好きなことに挑戦してみてください。

実習の機会が豊富。

仲間たちと笑い合っ充実した学生生活を。

地元で看護を学ぶために医学部へ入学。2年次の病院実習では、初めて患者さんと関わり、これまで机上だった学びが具体的になりました。また、養護教諭の実習では、先生方の対応を実際に目にする事で、新たな視点を得られたと思います。友人が増える一気に大学は楽しくなります。笑う門には福来る! ぜひ仲間たちと笑い合っ充実した学生生活を送ってください。

一緒に実習を乗り越えた仲間たち!



1年次に旅行でUSJへ。勉強以外も大学生活を楽しみました



春からの進路
看護師

医学部 保健学科 卒業
梶田 初音 さん

HU TOPICS

全12学部・4研究科の注目トピックをピックアップ。

広島大学の最新情報を紹介します。

学部情報 / 大学院情報

大学の動き

学位記授与式、入学式を挙

令和3年度学位記授与式、同4年度入学式を、それぞれ3月23日と4月3日に挙

行しました。学位記授与式では学部生2,369人、専攻科生16人、大学院生1,244人に越智学長から卒業証書・学位記が授与されました。入学式では新たに学部生2,492人、専攻科生11人、大学院生1,430人の新入生を迎えました。

いずれも新型コロナウイルス感染症対策を十分に行ったうえで実施しています。



新型コロナウイルスのワクチン3回目接種を2月21日から順次実施

教職員・学生等を対象にした新型コロナウイルスのワクチン3回目接種(職域接種)を、2月21日~22日に東広島キャンパスで実施しました。国立大学で

は最も早い接種の開始となりました。また、3月1日~7日にも同キャンパスで、3月15日~16日には霞キャンパスで接種を行いました。

HOT NEWS!!

本学卒業生が別府大分毎日マラソン大会で5位入賞!

本学法学部卒業生の相葉直紀さん(株式会社中電工)が2022年2月6日に行われた第70回別府大分毎日マラソン大会に出場し、自己新記録となる2時間8分44秒で5位入賞を果たしました。

相葉さんは、本学在学中に陸上競技部の主将を務めました。全日本大学駅伝に4年連続で出場し、4年生時には第44回全日本大学駅伝で1区を走り、区間10位と活躍しました。

今大会で5位に入賞したことにより、2023年秋開催予定の2024年パリ五輪マラソン代表選考会:マラソングランドチャンピオンシップ(MGC)の出場権を獲得。今後の活躍が期待されます。



総合科学部

学生独自プロジェクトが高校でワークショップ

「海岸清掃プロジェクトによる海岸ゴミの定量及び教育効果に関する研究」のメンバーが、2021年12月22日に賀茂高等学校でワークショップを開催しました。



文学部

疫病の時代をテーマにリテラ「21世紀の人文」講座

2021年12月4日、『疫病の時代を生きる』をテーマに、西洋史学分野の足立准教授と中国思想文化分野の有馬教授が講演を行いました。会場はほぼ満席で受講者も演者の話に熱心に聞き入っていました。



教育学部

QOLの向上を目指す実践者を育てる教育学部人間生活系コース

2021年10~12月に「のん太の家庭科室」プロジェクトの一環として背守り刺しゅうの体験講座を開講。多くのご家族にモノづくりの楽しさを実感していただきました。



法学部

法学会講演会「法曹を目指すために今やっておくべきこと」を開催

2022年1月19日、本学卒業生で広島弁護士会所属の井上愛美弁護士(千瑞穂法律事務所)をお招きし、現在の法曹人口の推移や法曹養成制度の展開など、貴重なお話を伺いました。法学部では、司法の現場で活躍している卒業生などを講師としてお迎えし、定期的に講演会を開催しています。

経済学部

公取委による「独占禁止法教室」が開催されました

2022年2月1日、「独占禁止法教室」(公正取引委員会事務局中国支所主催)がオンラインで開催され、独占禁止法について学生たちが熱心に聴講しました。



理学部

理学部のリニューアル工事が始まる

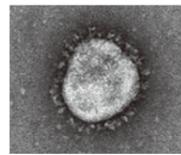
令和4年度から、理学部の建物改修が始まります。オープンイノベーションの創出などにより、研究推進・人材育成をさらに活性化する狙いです。



医学部

新型コロナウイルス研究が進行中

広島でどの変異株が流行しているのか、ゲノム塩基配列、ウイルス増殖の違い、抗体との反応性などを医学部チームで研究しています。オミクロン株にも有効な治療用抗体が見つかり、有効な薬剤の研究も進行しています。



歯学部

Our Attractive, and Inventive Professor!

歯学部の二川浩樹教授の研究が、「歯周病菌・むし歯菌の抑制に効果のある乳酸菌L8020」や「効果が持続する安全な成分の手指・粘膜に使用可能な抗菌・抗ウイルス剤 Etak®」などに応用されています。



薬学部

全ての研究室の活動を動画で紹介

新しく作成した薬学部の全14研究室の紹介動画が、HPで見られるようになりました。研究内容や研究室の様子などを紹介しています。ぜひご覧ください。高校生や研究室配属前の薬学部生の皆さん、歓迎します!

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/pharm/program/douga>



工学部

教員の研究・教育内容を深掘り! 「教員インタビュー」公開

所属する教員の研究を広く高校生に知ってもらうため、半年ごとに3人の先生方にインタビューを行い、工学部・工学研究科HP内で公開しています。研究内容や高校生へのメッセージなど、写真や図を交えながら分かりやすく紹介していますので、ぜひ一度ご覧ください。



生物生産学部

スマート農業ラボを設置し、DXを本格展開

「スマート農業ラボ」をもとに中国地域の各大学と連携し、水産、畜産、農作物、食品、農業経済など農業に関わる幅広い分野において、DXを展開します。



搾乳を自動化する現有設備のロボット

情報科学部

黒田和暉さんがU-22プログラミング・コンテスト2021経済産業大臣賞

情報科学部情報科学科インフォマティクスコース3年生の黒田和暉さんが第42回U-22プログラミング・コンテスト2021で経済産業大臣賞を受賞しました。全応募作品のうち、黒田さんの作品は独創性面で大変優れており、今後の成長が期待できると認められたためです。



人間社会科学研究科

研究科設立を記念して連続セミナーを開催

研究科の創立を記念する連続セミナーを、2021年12月から2022年3月にかけて開催しました。各プログラム・専攻がそれぞれの分野の最新の知見を提供しています。題目の一覧は研究科HPの特設ページに、開催されたセミナーの記録は研究科の広報特設サイト(HSS Researchers)に掲載していますので、ご覧ください。



先進理工系科学研究科

公式インスタグラムを開設

先進理工系科学研究科では、キャンパス風景や研究、学生の活躍など魅力ある写真をインスタグラムで発信中!



統合生命科学研究科

教員の研究が一目で分かる!

所属する教員の研究等を紹介するパンフレットを作成しました。パンフレット内のQRコードから研究者総覧にアクセスすると、さらに詳しい情報を確認できます。このパンフレットを契機として、大学院への進学や地域の皆さまとの新たな連携につながることを期待しています。ぜひQRコードからご覧ください。



医系科学研究科

広大霞LabSecretary運用開始から1年

研究機器など研究リソースの情報を共有する管理システム「広大霞LabSecretary」の運用を開始して1年が経ちました。研究リソースの共用・分与による共同研究の一層の推進が期待されます。



“ 広大キャンパスの「イマ」をお届け ” キャンパス NOW

広島大学には、育児や介護などのライフイベントと
研究・教育の両立をサポートするさまざまな仕組みがあります。
今回は、研究者の生の声とともに、それらの制度についてご紹介します。



研究支援員制度で、子育てと研究を両立!

菊田 真由実 助教
大学院統合生命科学研究科
※ 2021年に同制度を利用

広島大学への着任がきっかけで、幼い子どもと単身赴任生活をするこ
になりました。新たな環境で研究時間を確保できるか不安でしたが、メンター
の教員から「妊娠・育児・介護で研究時間の確保が困難な場合、研究補助業
務を行う支援員を配置してもらえる大学の制度がある」と教わり、早速申請
をしました。

比較的近い研究分野の学部生に研究支援員をお願いできたこともあり、当
初予定していた以上にデータ入力が進み、論文執筆に集中することができ
ました。また、私の研究は植物を扱って実験を行うため、日々の管理が必須。
もし子どもの体調不良等で出勤できなくても、研究支援員の方に水やりなど
をお願いできるという安心感があり、精神的にも助かりました。

My theme

イネやトウモロコシといった穀物の安定生産と生
産性向上を目指し、栽培環境の評価や栽培管理
技術の開発に取り組んでいます。アフリカ・ケニア
をフィールドとして研究を行っていますが、現在
はコロナ禍のため国内で研究を進めています。

「学内保育園」「学童保育」



子育てをしながら、仕事や学業などを行っ
ている教職員や学生のために、東広島
キャンパスに1カ所、霞キャンパスに2カ
所、学内保育園を整備しています。また、
教職員向けとして、小学校の春・夏・冬休
み中に学童保育を開設しています。

キャンパス内に保育園が
あるので、毎朝子どもと一緒
に通勤することができ、安心感
があります。申し込み時の大学
(男女共同参画推進室)からの
手厚いサポートも、入園の決
め手となりました。



Niraj Prakash Joshi
(ニラス プラカシュ ジョシ)
准教授
大学院人間社会科学部研究科

広島大学ならではの取り組み

保 育園の給食で ハラルフードを提供!

留学生や外国人研究者な
ども多く利用していること
から、給食でハラルフード
を提供している保育園も。



学 童保育では 広大生も大活躍!

学童保育では教育学部などの学生に宿題をみても
らったり、一緒に工作をしたり。自然豊かな東広島
キャンパスではビオトープでの生き物との触れ合い
や、技術職員の指導の下、しめ縄づくり・ガラスの絵
付けを楽しめます!



※ 学生は、資格を持った学童指導員の補佐として配置されています

お知らせ

▶ 研究支援員制
度についてはこ
ちら



▶ 学内保育園や
学童保育など両
立支援事業につ
いてはこちら



▶ 広島大学のダイバーシティ
に関する取り組みはこちら



国際型ダイバーシ
ティ研究環境実現
プログラム



詳しくは男女共同参画推進室に
お問い合わせください。

Reader's View

HU photos

Instagramで#広島大学の
付いた投稿からお届けします。



2022.1.24

#広島大学病院 #桜
#十月桜 #春の先取り

投稿者: toru-srs さん

HU ism

広島大学にまつわる、
読者のちょっとしたエピソードをご紹介します。

S NSで、「英文科でもないのに卒論は英語で書か
ねばならなかった。でも、そのために必死で英語を
勉強し、夢だった仕事にもつなげた」「卒論指導は
教官1人につき2人まで。厳しくも逃げられない分、
批判的思考が身に付いた」など書いていたら、共通
の話題で仲良くなった東京の方から、「もしかして同
窓では? 広大総科ではないですか?」とお尋ねが。ま
さか趣味でつながった方が同窓生とは。常識を無批
判に受け入れるのではなく、自分の頭で納得できる
まで調べて考えるという広大での学びは、いまでも
卒業生に息づいているのだと改めて実感しました。

ペンネーム: あこりん(広島市・52歳)

HU photos

広島大学にまつわる写真を#広島
大学をつけてInstagramに投稿し
てください。テーマは何でもOK!
素敵な写真をお待ちしています。

HU ism

広島大学にまつわる
逸話やエピソードを
募集します。あの頃の
懐かしい思い出話や
誰かに言いたくなる広島大学の秘
密を教えてください。

投稿
募集中!

投稿はこちら



投稿が
掲載された方には

広大マスコット
キャラクター
「ひろティー」
トートバッグをプレゼント!

※デザインは選べません



WEBアンケートにご協力ください

読者の皆さまからのご意見、ご要望、情報提供をお待ちしております。
いただいたアンケート内容は、今後の誌面づくりに活用させていただきます。



WEBアンケートはこちら

HU-plus 検索

読者プレゼント

アンケートにご回答いただいた方の中から抽選で合計12名様にプレゼント!!

※応募締切: 2022年7月31日必着 厳正な抽選の上、商品の発送をもって当選の発表とさせていただきます。

A 本田技研工業株式会社
2021年F1優勝記念ポストカード
28枚セット



4名様

B 株式会社ヒロテック
グッズ3点セット
・扇子(1個)
・ボールペン(1個)
・クリアファイル(1個)



4名様

C 広島市森林公園こんちゅう館
缶バッジ各種8個セット



4名様

広島大学への寄附にご協力いただき、深く感謝申し上げます。

広島大学基金

※広島大学が躍動し広島のを活性化させる基金
(広島大学75+75周年に向けて)・応急学生支援金を含む

高額のご寄附をいただいた方

●個人10億円以上 法人20億円以上

佐竹 利子 様
「特別荣誉学賞」

●個人5000万円以上 法人1億円以上

公益財団法人
広島大学教育研究支援財団

理事 長
佐竹 利子 様

一般財団法人
緑風会 様

財団法人 渋谷育英会

理事 長
小丸 法之 様

矢野 博文 様

●個人1000万円以上 法人2000万円以上

書馬 輝夫 様

医療法人社団

理事 長
浜中 和子 様

株式会社広島銀行

代表取締役頭取
部谷 俊雄 様

特定医療法人あかね会

理事 長
土谷 晋一郎 様

小野 光代 様

児玉 治 様

越智 光夫 様

鶴野 俊雄 様

平尾 泰保 様

田中 隆荘 様

●個人500万円以上 法人1000万円以上

医療法人社団 しまりもヒロシマ平松病院

理事 長
平松 廣夫 様

医療法人社団 仁慈会

理事 長
安田 克樹 様

オタフクソース株式会社

取締役会長
佐々木 直義 様

医療法人たんぼぼ会

理事 長
大嶋 俊一 様

医療法人社団 玄同会

理事 長
松石 頼明 様

株式会社 社人グループ

代表取締役
福井 滋 様

株式会社 築地

代表取締役
平尾 眞裕美 様

社会医療法人社団 沼南会

理事 長
檀谷 鞠子 様

医療法人辰川会

理事 長
西川 正洋 様

日本基準寝具株式会社

代表取締役
今井 誠則 様

三井住友信託銀行株式会社

代表取締役社長
橋本 勝 様

株式会社 紀陽

代表取締役社長
寒川 起佳 様

医療法人 辰川会

理事 長
西川 正洋 様

医療法人 せいざん

院長
大村 泰 様

医療法人 明笑会

理事 長
安本 正徳 様

医療法人社団 陽正会

理事 長
寺岡 暉 様

医療法人 微風会

会長
和泉 一子 様

株式会社 シンコー

代表取締役社長
筒井 幹治 様

●個人100万円以上 法人100万円以上

医療法人社団

みめぐみ会

サンクティック

株式会社 バルコム

代表取締役
山坂 哲郎 様

医療法人社団 楓会

林病院

理事 長
林 淳二 様

医療法人 恒和会

理事 長
松石 頼明 様

株式会社 村上農園

代表取締役
村上 清貴 様

医療法人 せのがわ

理事 長
津久江 一郎 様

株式会社 ダイクレ

代表取締役社長
山本 浩 様

医療法人 おち眼科医院

理事 長
越智 温子 様

公益財団法人

内外くえい会

代表理事
高橋 喜人 様

株式会社 紀陽

代表取締役社長
寒川 起佳 様

医療法人 辰川会

理事 長
西川 正洋 様

医療法人 せいざん

院長
大村 泰 様

医療法人 明笑会

理事 長
安本 正徳 様

医療法人社団 陽正会

理事 長
寺岡 暉 様

医療法人 微風会

会長
和泉 一子 様

株式会社 シンコー

代表取締役社長
筒井 幹治 様

医療法人社団 慈恵会

いまだ病院

株式会社 にしき堂

代表取締役社長
大谷 博国 様

大正富山医薬品

株式会社

代表取締役社長
藤田 憲一 様

医療法人 恒和会

理事 長
松石 頼明 様

医療法人 昭和

理事 長
原田 昭 様

医療法人 エム・エム会

理事 長
白川 泰山 様

医療法人 社団

スマイル

中光クリニック

理事 長
高杉 啓一郎 様

医療法人 辰川会

理事 長
西川 正洋 様

医療法人 せいざん

院長
大村 泰 様

医療法人 明笑会

理事 長
安本 正徳 様

医療法人社団 伯瑛会

のぞみ整形外科

理事 長
金田 瑛司 様

医療法人 みなみ会

理事 長
星野 修司 様

株式会社 総合広告社

代表取締役副会長
坪井 高義 様

医療法人 微風会

会長
和泉 一子 様

株式会社 シンコー

代表取締役社長
筒井 幹治 様

広島大学

消費生活協同組合

株式会社 やまだ屋

代表取締役
中村 靖富満 様

今治造船株式会社

代表取締役社長
榎垣 幸人 様

株式会社 立芝

代表取締役
向井 恒雄 様

三島食品株式会社

温泉川 梅代 様

Micron Technology

Foundation, Inc. 様

医療法人 ビーアイイー

理事 長
中村 英雄 様

向笠 富夫 様

高嶋 俊治 様

上 真一 様

浅野 宏國 様

石井 知行 様

石崎 信三 様

医療法人 あすか

理事 長
高橋 勲 様

白築 俊彦 様

白築 秀美 様

常石造船株式会社

浜中 和子 様

早川 武敏 様

広島大学

歯学部 歯科

補綴学 第一講座

山崎 正志 様

医療法人 ハートフル

理事 長
天野 純子 様

岩原 恭代 様

大池 久子 様

栗栖 長典 様

広島市医師婦人会

宮谷 真人 様

吉田 総仁 様

荒本 徹哉 様

医療法人 K&Clover

理事 長
小林 健二 様

株式会社 立芝

代表取締役
太田川病院 様

山田 道夫 様

相川 清文 様

RF 技工工業株式会社

代表取締役
玉村 俊雄 様

相田 美砂子 様

アカシア会

(広島大学附属

高校同窓会) 様

秋野 成人 様

石井 知行 様

石崎 信三 様

医療法人 あすか

理事 長
高橋 勲 様

白築 俊彦 様

白築 秀美 様

常石造船株式会社

浜中 和子 様

早川 武敏 様

広島大学

歯学部 歯科

補綴学 第一講座

山崎 正志 様

医療法人 ハートフル

理事 長
天野 純子 様

岩原 恭代 様

河原 能久 様

北村 拓也 様

許 泰一 様

協同出版株式会社

代表取締役
小貫 輝雄 様

楠 雄治 様

小池 透 様

高祖 讓 様

佐藤 裕子 様

重山 俊彦 様

社会医療法人 清風会

理事 長
梶原 四郎 様

新谷 貫之 様

末廣 眞一 様

鈴木 孝尚 様

住田 忠幸 様

高田 隆 様

竹中 利彦 様

田中 知満 様

中外テクノス

株式会社

菅田 巖 様

寺本 康俊 様

天道 俊孝 様

土肥 博雄 様

中島 淑乃 様

長谷川 泰二 様

平岡 恒雄 様

平田 敏夫 様

広島アルミニウム

工業株式会社

代表取締役社長
田島 文治 様

広島県厚生農業

協同組合連合会

尾道総合病院 様

広島日野自動車

株式会社

代表取締役社長
上野 孝史 様

福田 幸雄 様

藤本 吉範 様

復建調査設計

株式会社

堀 司郎 様

増井 孝子 様

松村 誠 様

道中 美敏 様

三村 邦雄 様

村上 恒二 様

八幡浜市役所 様

山田 宏 様

山根 恒弘 様

ヤマネホールディングス

株式会社

代表取締役社長
山根 誠一郎 様

有限会社 宇惠多

代表取締役
上田 邦恵 様

横崎 恭之 様

神谷 研二 様

2021年10月から2022年1月までに「ご寄附をいただいた方

●100万円以上

株式会社 広島銀行

代表取締役頭取
部谷 俊雄 様

内池 平樹 様

「名誉校友」

株式会社 村上農園

代表取締役
村上 清貴 様

原田 康夫 様

医療法人 たんぼぼ会

理事 長
大嶋 俊一 様

児玉 咲子 様

「名誉校友」

浅野 宏國 様

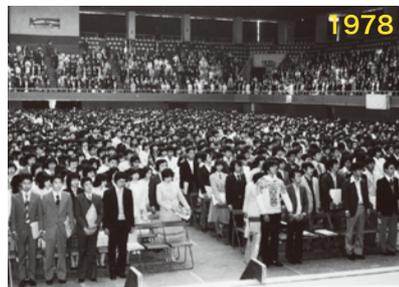
医療法人 ハートフル



キャンパス
今 昔

新生活の始まりを告げる入学式。

4月。大学の入学式には、新生活への期待と不安を胸に抱いた新入生が、一堂に集います。現在は東広島市の東広島運動公園体育館で行われていますが、キャンパス移転前は広島市の広島県立体育館を会場としていた時代もありました。学生たちの服装をよく見ると、現代の学生は一様に黒のスーツ姿なのに、昔の学生はどこか個性を感じる装い。会場の密集度の違いに、コロナ禍で一変した日常を実感します。当たり前の日々は変わってしまっても、大学で過ごす楽しさは変わりませんように。新入生の皆さん、広島大学で充実した日々を送ってください。



広島大学の昔の写真を募集します。

青春を過ごした思い出の場所や、当時の雰囲気を感じられる風景など、ご自宅に眠る広島大学の写真を、エピソードと共にお送りください。読者の皆さんと一緒に昔を懐かしみましょう。ご応募はP28のHU ism投稿フォームまで。



100年後にも世界で光り輝く大学へ

広島大学



編集・発行：広島大学 広報室

〒739-8511 東広島市鏡山1-3-2 TEL:082-424-4383 FAX:082-424-6040

E-mail: koho@office.hiroshima-u.ac.jp

<https://www.hiroshima-u.ac.jp>

